

ご、ごめんね
プロデューサーくん…

き、キミの部屋に
入った途端…

身体が
勝手に動いて…

ドキ

ドキ

ドキ



はぁ♡

プロデューサーくん…
このまま
シちゃおうよ…♡

はぁ♡

私はもう
準備万端だよ…♡

早くキミの…
入れてほしいの…♡

はぁ♡

んっ♡
んっ♡

じゅわん♡

んっ

ち、違うの…
身体が勝手に…っ♡

あぁっ♡

は、入っちゃってる…♡
プロデューサーくんの…♡

ビクッ

あゝ

グッ

グッ

やぁ♡

あぁ♡

グッ

ずぶずぶ



あ♡

プロデューサーくんの
おちんちんビクビクして…
すごく硬くなってるよ♡

あ♡

こんなに
勃起させて…♡

あ♡

プロデューサーくんも
私とセックスしたかったって
ことだよね…♡♡♡

ズ
チ
ュ

ズ
チ
ュ

あ♡

ズ
チ
ュ

あ♡

ビ
ン

ビ
ン





あ、謝らないで...っ
プロデューサーくん

あーっ♡

私のおそこが
勝手に締め付けちゃってる
だけだから...♡

ズッ

あーっ♡

ズッ

あーっ♡

あーっ♡

ズッ

き、キミは
悪くないからね...♡

あーっ♡

ズッ

キョウッ

中出し...♡
しちゃったね...♡

私の子宮に
ビュ〜って...♡
射精てるよ...♡

あ...♡

ビュッ

は...♡

は...♡

は...♡

ん...♡

ドクドク♡

ドクドク♡

ドクドク♡

ジュジュ♡

責任取ってね
プロデューサーくん♡













